

千葉大学教育実践研究

第 28 号

令和 7 年 3 月

<特集>

- 梅山 孝則・大野 英彦・藤川 大祐…………… 1
 教員養成学部学生の教員志望・非志望の現状に関して
 –千葉県内に所在する大学の教員養成学部学生の意識に着目して–
- 梅山 孝則・大野 英彦・藤川 大祐…………… 13
 千葉県公立高等学校教員基礎コースに在籍する生徒の教員志望の現状と大学進学後の
 教員養成系学部を求める学びに関して

<論考>

- 生稲 勇…………… 21
 キャリア・パスポートの有効活用～パーソナル・ポートフォリオ化による進路指導への効果～
- 磯邊 聡…………… 29
 教育臨床における「不安が強い子ども」について－理解と関わりをめぐる覚え書き－
- 平賀 洋一・大野 英彦…………… 37
 大学の教育資源を地域連携に活かすための方策と実践
 –大学の教育理念に基づく教育実践を産学官との連携に効果的に繋げるために–
- 笠井 孝久…………… 51
 高校における課題を抱えた生徒への成長・適応支援の実情
- 小島 江津子…………… 61
 社会科教員としてのフィールドワーク研修の教育的な意味－趣味的な街歩き活動を事例に－
- 保坂 亨・國吉 浩二・森 美香・村田 正実・荒金 誠司 …… 69
 教員のメンタルヘルス（第2報）
- 松井 聡・梅山 孝則・土屋 明子・村田 正実…………… 77
 「一人から始まる4人組の活動」の有効性 その2－令和5年度の課題を受けて－
- 森 美香…………… 87
 教職課程「道德教育の理論と方法」における個別最適な学びと協働的な学びの指導の在り方
- 森 美香…………… 93
 道德科の新しい教科書の特徴とその活用

<広報>

「千葉大学教育実践研究」編集・発行要領

(令和6年 11月28日 教員養成開発センター編集委員会承認)

- 第1 千葉大学教育学部附属教員養成開発センター（以下『センター』という。）は、教育実践に関する研究促進のため、「千葉大学教育実践研究」（以下『実践研究』という。）を編集・発行するものとする。
- 第2 「実践研究」は、原則として毎年度1回発行し、教育実践に関連する内容の研究論文、その他の記事を掲載する。
- 第3 論文は投稿によるものとし、その他の記事は編集委員会の企画によるものとする。
- 第4 投稿論文の採否、掲載順序、体裁、費用の負担区分の決定、その他の編集業務は、センター内に設置される「実践研究」編集委員会がこれを行う。
- 第5 「実践研究」に論文を投稿できるのは、次の各号に該当する者である。ただし、共著者となるものについてはこの限りではない。
- 一 センター長及び副センター長、センター専任教員、高度教職実践専攻専任教員
 - 二 特任教員及び特別研究員
 - 三 高度教職実践専攻修了生
 - 四 編集委員会が認めた者
- 第6 投稿できる論文の数は、1回の発行につき、原則として1人1編とする。ただし、編集委員会がその掲載の必要性を特に認めた場合は、この限りではない。
- 第7 掲載する論文は、原則として次の各号に従って作成・投稿されたものに限る。
- 一 原稿は横書き（ワードプロセッサで印字されていることが望ましい。）とする。
 - 二 原稿には、本文の他に、題名・著者名（和文及び欧文）、300字程度の要約（和文又は欧文）、1～5個のキーワード（和文及び欧文）を記載する。
 - 三 原稿の長さは、題名・著者名、要約・キーワード、図・表・写真、注釈、参考文献リスト等をすべて含め、刷り上がり頁数で10枚（ワードプロセッサにより40字29行で印字した場合、約14枚に相当）程度とし、最大でも12枚以内にとどめる。
 - 四 図・表・写真（白黒に限る。）は、必要最小限の枚数にとどめ、刷り上がりサイズができるだけ小さくなるように工夫したうえで、1枚ごとに別の用紙に作成し、縮尺率と本文中の挿入位置を明記して、本文原稿とは別に閉じて提出する。
 - 五 参考文献、注釈の記載形式は、著者の所属する学会等での慣例にしたがう。
 - 六 投稿締切は、毎年度1月末とし、具体的日時は年度ごとに「実践研究」編集委員会が決定する。
- 第8 「実践研究」を発行する費用は、センターが賄う。
- 第9 この要領に定めない事項については、編集委員会の決定するところによる。
- 第10 発行に関する庶務は、センター事務室が担当する。
- 第11 この要領は、センター編集の議を経て改正又は廃止する。

附 則

- 1. この要領は平成5年7月1日より発行する。
- 2. 千葉大学教育学部附属教育工学センター紀要投稿規定は廃止する。

附 則

この要領は、平成8年10月から実施する。
この要領は、平成11年10月1日から実施する。
この要領は、平成14年4月1日から実施する。
この要領は、平成26年4月1日から実施する。
この要領は、平成30年4月7日から実施する。
この要領は、令和6年11月28日から実施する。

編集委員(五十音順)

磯邊	聡	伊藤	裕志	大野	英彦
笠井	孝久	國吉	浩二	松井	聰
村田	正美	森	美香		

千葉大学教育実践研究 第28号

令和7年3月31日印刷・発行

発行者 千葉大学教育学部
附属教員養成開発センター

〒263-8522

千葉市稲毛区弥生町1番33号

電話・FAX 043 (290) 2696

印刷所 三陽メディア株式会社

Research in Teaching Strategies and Learning Activities:

A Bulletin of the Center for Research and Development
In Teacher Education Faculty of Education, Chiba University

No.28 March 2025

Special feature

Regarding the current situation regarding whether or not students in teacher training departments aspire to become teachers

-Focusing on the attitudes of students in teacher training departments at universities in Chiba Prefecture-
..... UMEYAMA Takanori, OHNO Hidehiko, FUJIKAWA Daisuke 1

The current state of students enrolled in the Chiba Prefecture public high school teacher basic course aspiring to become teachers and their expectations for education in teacher training faculties after entering university

..... UMEYAMA Takanori, OHNO Hidehiko, FUJIKAWA Daisuke 13

Original article

Effective use of Career Passport : Effects of Personal Portfolio on Career Guidance
..... IKUINA Isamu 21

Notes on “children with high anxiety” in education
..... ISOBE Satoshi 29

Measures and practices for utilizing the university’s educational resources in regional collaboration
-To effectively link educational practices based on the university’s educational philosophy to collaboration with industry, academia, and government-

..... HIRAGA Youichi, OHNO Hidehiko 37

The situation of support for growth and adjustment to students with problems in high schools
..... KASAI Takahisa 51

Educational meaning of fieldwork training for social studies teachers
-Example of hobby walking around town-
..... KOJIMA Etsuko 61

Mental health of teachers 2nd report
..... HOSAKA Toru, KUNIYOSHI Kouji, MORI Mika, MURATA Masami, ARAGANE Seiji 69

Effectiveness of “Four person activity starting with one person” Vol.2
In response to the challenges of 2023.
..... MATSUI Satoshi, UMEYAMA Takanori, TSUCHIYA Akiko, MURATA Masami 77

“Optimal Individually Learning and Collaborative Learning” in the Teacher Training Course “Theory and Methods of Moral Education”
..... MORI Mika 87

Characteristics and Utilization of the New Textbook of Moral Education
..... MORI Mika 93

Information

Published by
the Center for Research and Development
In Teacher Education Faculty of Education, Chiba University
1-33 Yayoi-cho, Inage-ku, Chiba
263-8522 Japan